

なかがわ 議会だより

No **144**

2023.4

▶発行/中川町議会 編集/議会広報特別委員会



4月3日(月) 中川町幼児センター入園式

主な 内容

- 第1回定例会
- 第1回臨時会
- 予算審査
- 町民と議会の懇談会
- 議会日誌 ●編集後記

◆第1回定例会◆

令和5年第1回定例会は3月8日招集され、会期を15日までとし、町長から令和5年度予算編成方針、教育長から令和5年度教育行政予算編成方針が示され、承認1件、条例制定3件、条例改正5件、議案1件、予算12件、会議規則1件を議決し、会期を1日残して閉会しました。



第1回定例会の様子

議案審議結果

【承認】

▼専決処分の承認を求めることについて
(令和4年度中川町一般会計
予算補正)

【原案可決】

歳入歳出にそれぞれ190万3千円を追加し、予算総額をそれぞれ42億4365万8千円とする。

主な補正内容は中央小学校の消火栓ポンプが凍結により破損し、緊急に改修工事を行う必要があるため学校管理費の追加。



破損した中央小学校の消火栓ポンプ

【条例制定】

▼中川町個人情報保護法施行条例の制定について

【原案可決】

令和5年4月1日から適用される個人情報の保護に関する

る法律の改正に伴い、新たな制度に対応する個人情報保護に関する条例の整備が必要となることから、現条例を廃止し、新たに中川町個人情報保護法施行条例を制定するもの。

▼中川町情報公開・個人情報保護審査会条例の制定について

【原案可決】

中川町個人情報保護法施行条例の制定に伴い、新たな制度に対応する情報公開・個人情報保護審査会の設置が必要となることから、中川町情報公開・個人情報保護審査会条例を制定するもの。

▼中川町議会の個人情報の保護に関する条例の制定について

【原案可決】

個人情報の保護に関する法律の改正に伴い令和5年4月1日より、同法において議会とは地方公共団体の機関から除かれるため、本町議会においても個人情報保護条例を規定し議会の保有する情報について、執行部側と個人情報の開示、訂正および取り扱いなどに関し、差異が生じぬよう共通ルールに沿った措置を講じるため本条例を制定するもの。

【条例一部改正】

▼中川町公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例等の一部を改正する条例について

【原案可決】

中川町個人情報保護条例の廃止に伴い、廃止となる条例を引用する条例の文言整理のため、中川町公の施設に係る指定管理者の指定手続に関する条例及び指定管理者を指定している6施設の各設置条例の一部を一括して改正。

▼中川町ふるさと寄附条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

ふるさと寄附金の用途を特段に定めていない現行の条例を、本町のまち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げている五つの取り組みそれぞれに、ふるさと寄附金を活用できるよう用途を明文化する内容を加え、寄附金を活用したまちづくりを行うために必要な要素を明らかにするための改正。

▼中川町国民健康保険条例の一部を改正する条例について

【原案可決】

国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、出産育児一時金が「42万円」から「48万8

千円」に引き上げられたことに伴う改正。

▼中川町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

【原案可決】
国民健康保険法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等賦課限度額が変更されたことに伴う改正。

▼中川町商工業活性化推進条例の一部を改正する条例について

【原案可決】
社会情勢の変化や条例の施行状況を踏まえ、条例の適時性確保の観点から、事業継承者の年齢制限の廃止・単身者と単身者以外の区別の統一など、地域木材使用促進、DX人材の育成、除雪体制強化を目的としたメニューを追加することに伴う改正。

【議案】
▼中川町農業振興センターの施設に係る指定管理者の指定について

【原案可決】
指定管理者：株式会社 中川町農業振興公社
指定の期間：令和5年4月1日から令和8年3月31日まで

【予算】

▼令和4年度中川町一般会計予算補正について

■歳入歳出総額に、それぞれ1億2422万8千円を減額し、予算総額をそれぞれ41億1943万円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、農業者への資材価格等高騰緊急対策事業補助、地方創生推進交付金事業補助、奥地林道大和線災害復旧工事の追加。各事業の実績見込みによる減額。

▼令和4年度中川町国民健康保険特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ2482万円を減額し、予算総額をそれぞれ2億522万9千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、療養給付費、高額療養費の実績見込みによる減額。

▼令和4年度中川町介護保険特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ1941万4千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億6739万6千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、実績見込みによる各サービス給付費の追加及び減額。

▼令和4年度中川町後期高齢者医療特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ746万円を追加し、予算総額をそれぞれ3197万2千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、広域連合負担金・保険料の追加。

▼令和4年度中川町簡易水道事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ1540万8千円を減額し、予算総額をそれぞれ2億7002万6千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、実績見込みによる工事費や委託料の減額。

▼令和4年度中川町農業集落排水事業特別会計予算補正について

■歳入歳出総額から、それぞれ433万円を減額し、予算総額をそれぞれ1億1379万1千円とする。

【原案可決】

主な補正内容は、実績見込みによる工事費や消費税納付金の減額。

▼令和5年度中川町一般会計予算を定めることについて

▼令和5年度中川町国民健康保険特別会計予算を定めることについて

▼令和5年度中川町介護保険特別会計予算を定めることについて

▼令和5年度中川町後期高齢者医療特別会計予算を定めることについて

▼令和5年度中川町簡易水道事業特別会計予算を定めることについて

▼令和5年度中川町農業集落排水事業特別会計予算を定めることについて

■令和5年度予算を定めることについて、一般会計と5特別会計を一括採決。

【原案可決】

※3月13日、14日の2日間にわたり審議しました。審査内容については、5ページに掲載。

【会議規則に伴うもの】

▼閉会中の継続調査の申し出（議会運営委員会）

■事件

1 本会議の会期日程等議会の運営に関する事項について
期限
令和5年4月30日まで
【継続調査決定】

質疑応答

▼ふるさと納税寄附条例の一部を改正する条例について
問ふるさと納税に関する取り組みが停滞し、納税額が少ないのではないかと。
答寄付金の使途を明確にし、寄付者が選択できるような条例を改正したい。また返礼品によつて納税額が変動するため、新たな返礼品の開発も進めており、ふるさと納税の増額に努めていきたいと考えている。

▼商工業活性化推進条例の一部を改正する条例について
問補助金を支出した事業について、成果や目的が十分に達していない場合は、補助金の返還命令を出せるようになるべきではないか。

答受け取った補助金を不正に使うなどの悪意や虚偽があれば当然に返還させるが、計画目標の達成度が低いからと返還を求めるのは、事業の目的から難しい面がある。今後検

討したい。

▼中川町農業振興センターの施設に係る指定管理者の指定について

問 指定管理の期間が5年間から3年間に短縮されたのはなぜか。

答 新規就農者が放牧を目指す傾向が増えており、大規模搾乳法人の運営が始まるなど、環境が変化している。今後の方向性や公社のあり方など、変革の可能性を考慮したため。

▼令和4年度中川町一般会計予算補正について

問 上川北部消防事務組合の負担金のうち、約8千万円が翌年度に繰越となっているがこの内容について。

答 当初予算で大型のタンク車の購入経費として計上していたが、車両メーカーのエンジンに認証不正問題が発生し、今年度中の納品が難しくなったため繰越明許費を設定した。令和5年度中に納車は可能であるという状況になっている。問 森林環境譲与税について1300万円が当初予算で計上されていたが200万ほど減額されているのはなぜなのか。

答 上川総合振興局から今後5

年程度の見込み額として通知されていたが、秋に令和4年度分の配分額として1090万円の確定通知がされたため減額したところ。

問 農業振興センターのD型ハウス新築工事について、他の議員からもっと安く作れるとの意見があったが、どのように予定価格を積算しているのか。

答 工事費については、基本的に道の積算単価表に基づき算出している。また、複合単価は札幌地域が基準の為本町のような遠隔地の場合、必要に応じて見積書を徴取している。国の通達でも適切な積算を求められている。

問 D型ハウスの新築工事について、役場が建築工事などを契約して工事が始まるが、工事期間中の現場の所有権は何処にあるのか。

答 工事完成後に検査を行い合格し引き渡しを受けるまでは、工事の目的物は請負業者の所有物となる。火災保険についても請負業者の方で負担し、引き渡しを受けた以降は所有権が町に移行されるため、その後速やかに町は火災保険を掛けている。

問 工事期間中に役場の担当者

は現場を何回か見に行くと思うが抜き打ちで行くのか、それとも請負業者に事前確認を取るのか。

答 工事期間中には工事監督員が工程の要所で現場の確認に伺うが、その際には請負業者の現場代理人と日程を調整し、現場代理人の立会いの下で現場の確認をする。請負業者が不在の時に役場が現場に行く事はない。工事期間中は請負業者の所有物であるため工事関係者以外は立ち入り禁止となっている。

問 資材価格高騰緊急対策事業補助について、この後も高騰が続いたら何らかの対策は取るのか。

答 今回の補正の効果を見極めながら、次年度以降についても農業対策、商業対策について注視し、必要であれば補正等を行う必要があると考えている。

問 空き屋等の実態調査について調査結果は出ているのか。

答 中川町の全町を対象に調査をした結果、民間の空き家が63戸、町の住宅や公共施設で30戸、合計93戸という結果が出ている。今年度中に空き家対策計画を策定し空き家バンクを活用しながらマッチング

するような仕組みや、空き家解体の補助制度等の施策を検討していきたいと考えている。

第一回臨時会

令和5年3月23日招集

令和5年第1回臨時会は、3月23日招集され、会期を1日と決し、議案1件、予算補正1件を議決し閉会しました。

議案審議結果

【議案】

▼損害賠償の額を定めることについて

■相手方：山下 西造

■損害賠償金額：5万9675円

【予算】

▼令和4年度中川町一般会計予算補正

■歳入歳出予算額に、それぞれ5万9千円を追加し、予算総額をそれぞれ41億1948万9千円とする。

結果 賛成5（反対2）

【原案可決】

補正内容は、寿の家落雪事故の損害賠償義務を履行するための必要経費の追加。

質疑応答

▼損害賠償の額を定めることについて

問 施設の維持管理や点検が十分ではないか。

答 定期的な施設の点検は行い除雪もしているが、急な暖気によりこのような事態となっていました。今後は利用者への注意喚起なども行いたい。

討論

▼令和4年度中川町一般会計予算補正

反対討論 チェック体制や行政責任が明らかになっていないため、この補正予算を認める訳にはいかない。

賛成討論 ある程度行政の責任もあるが、暖気で想定外の落雪であるため妥当と考えている。



令和5年度 一般会計 5特別会計 予算審議

3月13日から14日の2日間にわたり令和5年度に係る予算審議を行い、原案のとおり可決すべきと決定。

一般会計・特別会計

区 分	令和5年度当初予算	令和4年度当初予算	増 減 額
一 般 会 計	40億1500万0千円	40億1100万0千円	400万0千円
国 民 健 康 保 険	2億2768万1千円	2億3214万8千円	△ 446万7千円
介 護 保 険	2億6490万0千円	2億7381万1千円	△ 891万1千円
後 期 高 齢 者 医 療	3378万4千円	3213万5千円	164万9千円
簡 易 水 道 事 業	2億4692万0千円	2億7505万9千円	△ 2813万9千円
農 業 集 落 排 水 事 業	1億1661万9千円	1億1604万1千円	57万8千円
合 計	49億490万4千円	49億4019万4千円	△ 3529万0千円

3月13日から14日までの2日間、令和5年度一般会計ほか5特別会計歳入歳出予算について、審議を行いました。いずれも原案のとおり可決すべきものと決定されました。以下、審議の際に行われた主な質疑を掲載致します。

主な質問事項

歳入全般（一般会計・特別会計）

問今年度の予算は骨格予算にしては大きいのではないかと。答前年度並みの予算規模となっているが、昨年発生した大雨と地震の災害復旧費を2億4千万円計上しているため、実質的には大きく減少している。

問森林環境譲与税について算定の仕組みを知りたい。

答算定の方法は民有林面積と林業就業者数及び人口に応じて各市町村に配分されている。国及び道から交付の内示がくるもの。

問岡町の民有林や町有林の面積に対し林業従事者の数は間に合っているのか。

答林業就業者数について正確な数字は把握していないが、林業事業体に話を聞くと人手不足であり、求人を出している

が応募に至らない状況である。

問ふるさと納税について前年度から若干増えているが、今後の展開について。

答中川町は寄付金の額が少なく取り組みを強めていかなければならないと考えている。訴求力を高めるための手段として本町で積極的に行っている事業を掲げ、寄付金を募る形態を強め、返礼品のブラッシュアップ等についても整備を行いながら寄付金の確保に努めていきたい。

総務課関係（歳出）

問燃料費や光熱費が高騰しているが予算を計上する際には去年の実績から計算しているのか、それとも推計しているのか。

答燃料費については予算編成開始時点の販売単価を用いて積算を行っている。また電気料については、今年の6月から大幅に単価が上がるという状況を勘案し、施設管理上必要な予算を計上している。

問遠別民放ラジオ中継協議会の負担金が倍ぐらい上がったというが何か理由はあるのか。また町でラジオが聞きにくい

ため何か対応できないのか。

答増額の理由は中継局のアンテナを支えるワイヤーの交換工事が予定されているため。電波の出力は法の定めがあるので上げるのは難しいが、協議会の中でも相談していきたい。

問120周年記念表彰式とあるが事業としてどのような事を行うのか。

答町の産業振興や福祉、教育、文化、自治などに永年貢献された方や、本町に77年以上引き続き住まわれている方々の表彰を行う。また、120周年を祝う記念品を各世帯に配布する予定。

問町職員の持ち家が少なく感じるが、定住化対策について考えたことはあるのか。

答持ち家を持つのは職員個々の判断であるが、全町民が安心して住み続けられるまちづくりを今後も継続したい。

問佐久駅の今後について。

答いまの段階では佐久駅は継続していく必要があると認識している。JRとの間で何らかの費用負担が相当発生する事態が起こった場合には、議会と協議しながら存続等について検討する。



佐久駅の行方

住民課関係(歳出)

問 診療所の委託料が前法人と比べると大幅に上がっているがどう考えているのか。

答 診療所の指定管理期間は令和5年度で最終年度を迎える。次期の指定管理に向けてどのような体制が良いのか検討しなければならぬと考えている。我々が考える以上に医師確保について厳しい状況であり、各方面に相談するため診療所運営についてはもう少し時間を頂きたい。

問 一心苑やグループホームの赤字が増えているが、経営改善や施設の有効な管理について考えているのか。

答 介護人材が確保できていないのが一番の課題であり、外国人の介護士を迎え入れてい

るほか、各学校へのPR活動なども行っている。一心苑については築44年を迎えるため、改築より新築が望ましいと考えており、複合的な介護老人福祉施設、最低限の職員で回せるような施設づくりなどの方向性を第9期の介護保険事業計画で示せればと考えている。



介護人材の不足が問題

問 子どもの数が減少しているが、出生者数、出生予定者数を教えていただきたい。

答 令和4年度の出生者数は4名であり、令和5年度については妊娠届の提出がまだない。

問 数年前に婚活事業をなくしたが、婚活は非常に重要な課題だと思うが、どのように考えているのか。

答 子育て支援などの新たな政策については、改選前の骨格予算のため控えたところ。次

期体制で検討し、実行すべき課題と考える。

産業振興課関係(歳出)

問 乳用牛早期廃用支援事業補助の予定頭数と1頭あたりの金額について。

答 廃用牛の支援として1頭当たり3万円の補助としており、予定頭数については24頭を予定している。

問 耕種農家の新規就農を誘致したいという話だが、町からの補助や支援は考えているのか。

答 耕種農家の新規就農については令和2年の制度開設当初2件あった。耕種農家の新規就農を進めていこうと思えば難しいハードルだが、高収益なハウス系の作物を少ない面積で作り、出来る限り通年で畑を動かせるように研究していく事が必要だと思っている。

問 クリーンラッチ採種園の現状について。

答 クリーンラッチ採種園については令和2年度に採種園の造成と植栽を行い、造成面積は3・2ヘクタール、550本植栽しており、適時補植をしている。



クリーンラッチ採種園

問 大和林地道改良工事の進捗と今年の計画について。

答 令和4年度に改良工事を予定していたが、8月豪雨災害により周辺が被災し、入札を中止した。5年度に引き続き道の補助金を活用し災害事業の工事が完了次第、対応する予定。

問 地域おこし協力隊の起業・事業継承支援補助について、どの分野の方がこの事業を受けるのか。

答 本事業は退任前後1年間に於いて起業支援等が受けられる総務省の事業を活用しており、1名は令和4年度中に退任した木材流通を担当しているものの、5名が委託型でフレイフィッシングガイド、アウトドアガイドが1名、地域商社に関連し公社に派遣されて

いるものが2名、料理店と写真家で2名、計6名となっている。

問 地域おこし協力隊の仕事内容と仕事の成果が見えないため、仕事の成果や結果がわかるようにしてはどうか。

答 協力隊の活動内容については毎月の広報紙に掲載している。協力隊は各員が中川町にマッチしたミッションを掲げて活動していることをご理解いただきたい。

問 農業振興センターについて修繕費を300万円予算計上しているが、自給飼料の生産開始から10年経ち機械の寿命も近いと思うが間に合うのか。また機器の更新については考えているのか。

答 老朽化した機械もあり修繕費が年々嵩み、作業効率も低下してきている。高額な機械の更新は、改選前なので控えたが、機械の損耗状態に応じ購入やリース、修繕の判断はしなければならないと考えている。

問 いままで商工業活性化推進条例に基づく補助件数は何件なのか。また4年間で9件も商工業者が減っているが効果はあるのか。

問 3年間で新規開業が9件、事業継承が11件となっている。商工業者が9件減っているところがあるが同時に9件の新規開業や、本事業が無ければ継承が難しかった事業が11件継承されている。効果が無かったとは考えていない。

問 産業PR業務委託とはどのような内容なのか。

答 中川町に興味や関心を抱かせるプロモーション活動として記録映像の収録費やSNS等における情報発信を想定している。またタレントのイベント出演についても積算している。

環境整備課関係(歳出)

問 以前は除雪関係者を集め除雪対策会議を開いていたと思うが現在は開いているのか。

答 除雪会議については毎年行っており、令和5年度においても11月の段階で関係者が集まり、次期の除雪をスムーズに行うように努める。

問 町道除雪の制度を充足させてからいまに至るまで出動基準等、業者の側に立った変更が多くあるのではないか。

答 除雪委託の積算根拠につい

ては内容的には変わっていない。出動基準についても今シーズンには降雪のタイミングに応じて、町内全域を2回走ったという状況もある。町民の冬の足を確保するという事に重きを置き柔軟な対応をしていきたい。

教育委員会関係(歳出)

問 エコミュージアムセンターについて、エコル咲くが解散するという話があるが、今後はどう進めていくのか。

答 エコル咲くについてはすぐには解散しないが令和5年度中に解散する手続きを始め、次第解散する。エコミュージアムセンターの運営については常駐していた会員2名は町の会計年度任用職員として応募している。



エコル咲くが運営する
エコミュージアムセンター

問 町民の交流事業が減ってきているため全町民が集うようなイベントを開催する努力としてはどうか。

答 個々の生活様式や趣味嗜好もあるため、町民全体というのは難しいかもしれないが、新しいイベントの企画は検討したい。子供や保護者の数が減っており、学校を地域の力で支えるため行事や取り組みを地域の方に手伝いを頂き、あるいは参加していただくという事が必要だと考えている。

問 スキー場の1シーズンの利用者人数について。

答 近年3カ年については令和元年3736人、令和2年3609人、令和3年2591人でありコロナ禍の影響で減少傾向である。今年以降はコロナ禍前の状況に戻ることを期待している。



町民スキー場の様子

全国町村議会議長会自治功労者表彰

全国町村議会議長会第74回定期総会において、長年にわたり町村自治の振興発展に尽くされた方の表彰が行われました。受章者は次のとおりです。

○町村議会議員として27年以上在職

佐藤輝雄氏

3月8日開催の第1回定例会において、伝達式が行われました。



町民と議会の懇談会を開催しました

令和5年2月27日に開催した町民と議会の懇談会は、佐久地区公民館と保健センターの2会場で行い、あわせて20名の町民が参加されました。

開会にあたり、佐藤輝雄議長は「新型コロナウイルス感染症が世界的に猛威を振るう中、感染拡大防止の観点から、令和2年2月の懇談会を最後に休止していましたが、全国的に新規感染者数が落ち着いてきたこともあり、3年ぶりに開催することとしました。人口減少社会の中、自治体と議会の役割も益々重要となっ



てきています。ぜひ、皆さんから多くのご意見をお聞きし、今後の議会運営、そしてまちづくりにつけていきたいと思います。よろしくお願いします。」と挨拶しました。その後、二つの対話テーマに沿って意見・要望などを参加者と議員で話し合いました。

テーマ① 「こうしたら住み良い まちになるかも？」

▼高齢者が飼っているペットについて、本人が入院等で面倒が見られなくなった時に、ペットが殺処分とならないよう対応できないだろうか。

町内の一部の地域でも野良猫が問題となつていきます。町にご意見を伝えます。

▼テーマの「こうしたら住み良いまちに」とあるが、議会では話し合っているのか。まちづくりは永遠のテーマ

であり、定例会や委員会などで町の政策について議論しています。

▼人口減少が進んでおり医療・買い物・教育難民の状態にあるのではないか。人がいないと自治体や商売が成り立たないため仕事や雇用、経済について考えて欲しい。

高齢化や人口減少の問題は、重要課題と認識しています。

▼診療所の入院の休止が続いているが、自分が入院する時を考えると不安になる。

議会でも質疑を行い、早期の再開を望んでいます。全国的に看護師が不足している状況が続いています。

▼農作業機械の価格が高騰している。補助や支援制度が拡充されると良いが。

資材などの高騰も理解しています。町にご意見を伝えます。

▼温泉や特養老人ホームの建物が古くなってきたが、建て替えの予定はあるのか。

どちらも老朽化が進み、町、議会とも心配しています。今

後も建て替えや改修について、町と意見を交換していきます。



▼雇用拡大の取り組みを充実させてはどうか。若い人が希望を持てるまちづくりを。

高規格道路の延伸計画が一步進みましたが、農業、商工業の振興など、今後も議論していきます。

テーマ②

「高い？安い？議員報酬
月14万円」

▼議員の数について人口の割に多い気がする。議席を減らしてその分を報酬に回すのはどうか。

▼若い人の力を借りる時ではないか。若手議員が生活できる報酬にするべきだろう。

▼物価高で年金暮らしの人に大変な時期にある。報酬を上げるとは理解できない。

▼選挙に出てもらい、町のためにつくし、大いに働いてもらうためには相応の報酬が必要。20年前の削減前に戻しても足りないかもしれない。

定数の検討では、これ以上減らすと各業界の詳しい人がいなくなり審議の質が低下する恐れなどが問題点として出されました。報酬についても、改選後において検討すべき課題として引き継ぎます。

テーマ以外の意見など

▼以前、全員協議会に傍聴に訪れたら拒否されたが。

現在は会議の傍聴ルールを整備し、個人のプライバシーが絡まないなど、傍聴可能なものについては、おしらせ君で事前に周知しています。

▼議会や議員はどのような活動をしているのか。

定例会や委員会等の会議の他にも、各議員が政策の勉強

や、本などによる学習、町民から話を聞いたり、管内や道内の議会組織や各種期成会、一部事務組合議会など対外的な活動もしています。また、議員活動の可視化については、継続すべき検討課題だと考えています。

また、懇談会終了後の参加者アンケートでは、13名に回答いただき、そのうち約7割の方が「次回も参加したい」との回答でした。また、アンケートでは、次のようなご意見を記載されています。

- ・ 町民から意見を聞き取ることが目的だと思うが、議員の説明や意見で時間を取られすぎている。
- ・ 議員活動を聞ける場は大切だと思った。
- ・ これだけの人口になったらいろいろな面で改善しなければ町もたない。
- ・ 住民に聞くより議員さんたちも考えて欲しい。
- ・ 話し合いの時間が足りない。
- ・ 「議員とは何なのか」「議員は何をするのか」基本的な事を知りたいと思います。

- ・ た。弱い者が暮らしよい町が「良いまちだ」だと思う。
- ・ 議員さんも頑張っているなと思う人や何をしているのか分からない人もいます。
- ・ 町の行事にも積極的に参加しているとは思えない。役場の職員も行事に参加しているとは思えない。
- ・ グループでの懇談はやらないう方がいい、時間が少なすぎる21時までやるように。この町がどう長持ちさせる

かが皆さんの課題です。お互いに話し合いましょう。
・ 議会でどうしたらまちづくりが出来るか話し合ってほしい。

貴重なご意見を多数いただきありがとうございます。
これらの意見については今後の議会運営の参考にさせていただきます。



懇談会の運営に関するお詫びについて

このほど実施した懇談会は、この3年間、新型コロナウイルスの感染拡大を予防する観点から、町民の皆様と一堂に会して話し合う接点を持てなかった反省もあり、できるだけ多くの方々から、まちづくりや議会へのご意見や提言などをいただければと企画したものでした。

しかし、一部の議員が議会や行政に関する誤情報や他の議員を貶めるような内容を含んだ文書を作成して町民に配布し、あたかも偶然に意見が出されたかのようなヤラセを画策していた事実が後日、判明しました。このことは、公平公正な議会運営を行い、町民福祉を向上させようという議会活動の目的を大きく逸脱するものであり、到底容認できる内容ではありません。議員個人の行動ではありますが、議会として、日頃の指導が行き届かず、参加された方々はもとより、町民の皆様にも不愉快な思いやご心配をおかけしたことについて深くお詫び申し上げます。

今後とも各議員の資質向上に努め、町民の皆様からの負託にこたえられるよう一層努力してまいります。

中川町議会議長 佐藤 輝雄

議 会 日 誌

1月

19日 和寒町議会へ所管調査

【和寒町】

25日 上川町村議会議長会監査

・役員会 【旭川市】

31日 上川北部市町村議会議長

会1月定例会

【音威子府村】

2月

第1回全員協議会

15日 北海道町村議会議長会理

事会・知事との懇談会

【札幌市】

20日 上川町村議会議長会総会

【旭川市】

21日 北海道監査委員協議会定

例会 【札幌市】

22日 令和5年第1回西天北五

町衛生施設組合議会定例

会 【幌延町】

27日 町民と議会の懇談会

28日 第2回全員協議会

第1回議会運営委員会

3月

3日 令和5年第1回上川北部

消防事務組合議会定例会

【名寄市】

4日 自衛隊入隊予定者激励会

【名寄市】

6日 第2回議会運営委員会

8日 第3回全員協議会

第1回定例会（議案審議）

13日

予算審査

14日

第3回議会運営委員会

第5回全員協議会

第1回臨時会

札幌中川会定期総会

第1回上川北部消防事務組

合議会臨時会 【名寄市】



2月26日(日) きこり祭り
来賓あいさつの様子

議会モニターを

募集しています

町議会の円滑で民主的な議会運営を推進するため、町民からの要望や提言及び意見等を広くお聞きし、今後の議会運営に反映していく目的で「町議会モニター」を募集しています。

町議会の仕組みや運営に関心があり、町行政及び地域社会の発展に関心のあり方のご応募をお待ちしております。

■応募条件（若干名）

- ・満18歳以上の町民で、公務員、各種行政委員でない方

- ・町議会の仕組みや運営に関心がある方

- ・町政及び地域社会の発展に関心がある方

■任期

- ・着任の日から令和7年4月まで。

■職務の内容

- ・年4回開催の定例会に出席し、その意見を文書等により提出
- ・「議会だより」に関する意見を文書等により提出

詳しくは議会事務局 ☎ 7・2944 までお問い合わせください。

編集後記

4月になり、新年度が始まり、今年は例年より早い雪解けで春を感じるとともに、新たな出会いと別れを感じている今日この頃。早いもので議会広報委員長として4年間務めさせていただき、この号が最終となりました。その中で様々な経験をさせていただき、町民の皆様にはわかりやすく議会活動をお伝えする努力はしてきましたが、限られた紙面での情報発信の難しさを痛感し、今後の後任の方には工夫をこらした議会広報の在り方を検討してもらいたく思います。

新型コロナウイルス感染症から3年が過ぎ、3月13日からはマスクの着用は個人の判断となり、長く続いたコロナ禍からも春の訪れを実感しています。これからは少しずつ明るい話題が増えることを願いつつ、新時代として夢や未来を語れる町になればと思います。（英貴）

議会広報特別委員会

委員長 佐々木 英和
委員 小池 豊

